

**ネクスト香川(新規産業創出支援センター)  
インキュベート工房入居者を募集中**  
～「一般型」に加え「情報通信型」を新たに整備～

**【ネクスト香川インキュベート工房とは】**  
新技術や新製品の開発を目指す企業や新規創業される方に、企画開発・事業化推進のためのスペースを提供する県の施設  
所在地:高松市林町2217-44(高松自動車道高松中央ICから車で約2分)

- 一般型インキュベート工房**
- 工房(大)118～137平方<sup>米</sup>
  - 工房(小)64～67平方<sup>米</sup>
- <対象者>**  
新技術や新商品の事業化に向けた研究開発などを行うおとする新規創業予定者、第二創業や事業多角化などで新事業や新分野への進出予定者など
- <入居期間>最長13年**  
**<冷暖房>あり <敷金>なし**  
**<無料駐車場>あり**  
**<光熱水費>実費負担**  
**<賃料>**  
● 入居期間が5年以内の場合 月額1,560円/平方<sup>米</sup>  
● 入居期間が5年を超える場合 月額1,870円/平方<sup>米</sup>

**情報通信型インキュベート工房 11月OPEN(インターネット無料接続)**

● 約30平方<sup>米</sup>・約15平方<sup>米</sup>の2タイプ(全4室)  
情報処理サービス業、ソフトウェア業、映像・音声・文字情報制作業、デザイン業およびインターネット付随サービス業など、情報処理関連事業を行う方が対象 ※施設詳細、応募状況は、別途お問い合わせください。



(問い合わせ先・申し込み先)  
(公財)かがわ産業支援財団 施設管理課  
☎ 087-869-3700 FAX 087-869-3703  
詳しくは



誤差1<sup>ミ</sup>以内の精度が求められるステンレス製品

設計から加工、組立までの一貫製造体制が同社の強み。工場内設備機械の中には自社で開発設計したものも少なくありません。溶接といった熱を伴う加工段階で起こりやすいトラブルを防ぐために、独自の拘束具を考案し、部品を固定して加工する技術も確立しました。

**地域に寄り添いつつ  
挑戦の幅も広げたい**

「以前は現場に向き、工事に当たることもありました。建設機械部品製造が中核となつてからは工場作業がメイン。いち早くロボットを導入するなど設備投資にも熱心で、2020年3月には工場設備を再整備し、県内外からの大型部品の注文に対応できる体制を整えました。」



香西薫社長

「大型部材の品質が安定するよう、オリジナルの治具(加工、組み立てで作業位置を誘導する器具)を考案し、作業レベルの均一化も図っています。社員は35歳前後が平均で、若手が多いなか、ベテランが基本を教えるから現場に入ります。経験が浅い人もいますが、治具化はベテランの技術に少しも近づける訓練でもあるんです」と香西さん。職人の技術を学ぶ「溶接道場」で技術力向上を支えるほか、女性溶接スタッフの育成にも意欲的です。

「陸、海、空、宇宙まで、鉄はどんなところにも使われている素材。そんな鉄という素材について他社にまねのできない高度な加工技術を身に付けたら、ものすごい強みであるし市場も大きいと思いませんか?」と語る香西さんが目指すのは「ものづくりで顧客に寄り添うソリューションビジネス」です。「さまざまな事業を通じて地域密着を貫き、周辺企業の発展をお手伝いしていきます」という自負があります。地元でもまだまだいろいろな縁が広がっていますし、地域企業を応援しながら、県外の新規顧客の獲得にも技術でチャレンジできるころには「挑んでいきたい」と力を込めて語ってくれました。

問い合わせ先  
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課  
☎087-868-9904

**鉄は万能素材  
現場に光る創意工夫**

**難易度の高いニーズに  
溶接精度で応える**

同社は1927年に屋島の麓で創業し、塩田事業に携わっていました。当初はポンプの製作やパイプの配管工事から始まり、当時としては珍しかったステンレス材を採用し、溶接加工技術を会得しました。ステンレス加工の技術が確立すると、製薬会社の設備などを手掛けるようになりました。1959年に地元大手クレーンメーカーと提携してからは、大型クレーン用の走行フレーム、旋回部分、ジブ(クレーンの腕の部分)など建設機械部品の製造加工が主力部門。吊り上げ荷重が100tを超える

える大型の自走式クレーンに使われています。

用途に見合う強度と耐久性が必要なのはもちろん、クレーンがほとんど大型化していくにつれて部品は軽量化が必要になります。超高張力鋼板と呼ばれる薄くても非常に強度がある鋼板を使うことも増えています。

エネルギー関係の分野にも精通し、原子力関連の設備や製品も納入しています。代表取締役社長の香西薫さんは「ステンレス製品は仕上げが難しいんです。人間技が発揮される分野において難易度の高い品質や検査を高評価でクリアした時は、涙が出るほどうれしかったものです。ノウハウを持つ経験者が育ち、今の仕事にもつながっています。」

**挑戦する  
かがわの  
ものづくり企業**

見上げるほど大きい部品を、誤差1<sup>ミ</sup>以内の精度で造りあげる高度な加工技術。大型建設機械をはじめさまざまな分野で強みを発揮し、地域の発展に貢献してきた香川のものづくり企業を紹介します。

**株式会社香西鉄工所**

(住所)高松市春日町1286-10  
(創業)1927年  
☎087-843-1177  
<https://kozai-iron.co.jp/>

